

シンシユン 西加奈子

1 初めてシンタに会ったときは驚いた。中学校の入学式、そこに「僕がいる。」
と思っただ。

身長も同じくらい、くせ毛の生え方も似ているし、二重の目ははばも、鼻筋の
に仲よくなった。まるで磁石が引き合うみたいに。

話してみると、好きなものも嫌いなものも同じだった。好きな食べ物（つゆ
がたっぷりの牛丼、好きな飲み物（炭酸の強いソーダ）、姉ちゃんがいるのも同
じだし、蛇口から直接水を飲むのが好きで、靴下はうっとうしい。体育が好きで、
音楽が苦手。

誕生日は違ったし、名字も名前も違うけど（それでも、僕はシュンタだ、十分
似ている）、僕とシンタはまるで双子だった。みんなは、僕たちのことをまとめ



て「シンシユン」とよんだ。そうよばれると僕たち
は同時に振り返った。いつもいっしょだった。
シンタと話している、話したいことがどんどん
あふれてきた。シンタもそう言ってくれた。
「シュンタになり、いくらでも話してくれよ。」
僕たちは自分自身と話しているようなものだった。
笑うところも、怒るところも同じだった。

ある日、国語の授業で小説を読んだ。
短い話で、全然明るくなくて、それどころか暗くて、悲しい話だったけど、
僕はすごく好きだと思っただ。でも、どうして好きなのか全然話せてきなかった。
だから、シンタに話そうと思った。僕が好きなんだから、シンタも絶対に好きだ。
あう、そしてシンタなら、その理由を教えてください。シンタも絶対に好きだ。
休み時間、僕はいつものようにシンタの席へ行った。椅子に座った。
わくわくしながら小説の話を切りだすと、シンタは顔をしかめた。わく
わくがつかない顔で話を聞いてくれた。

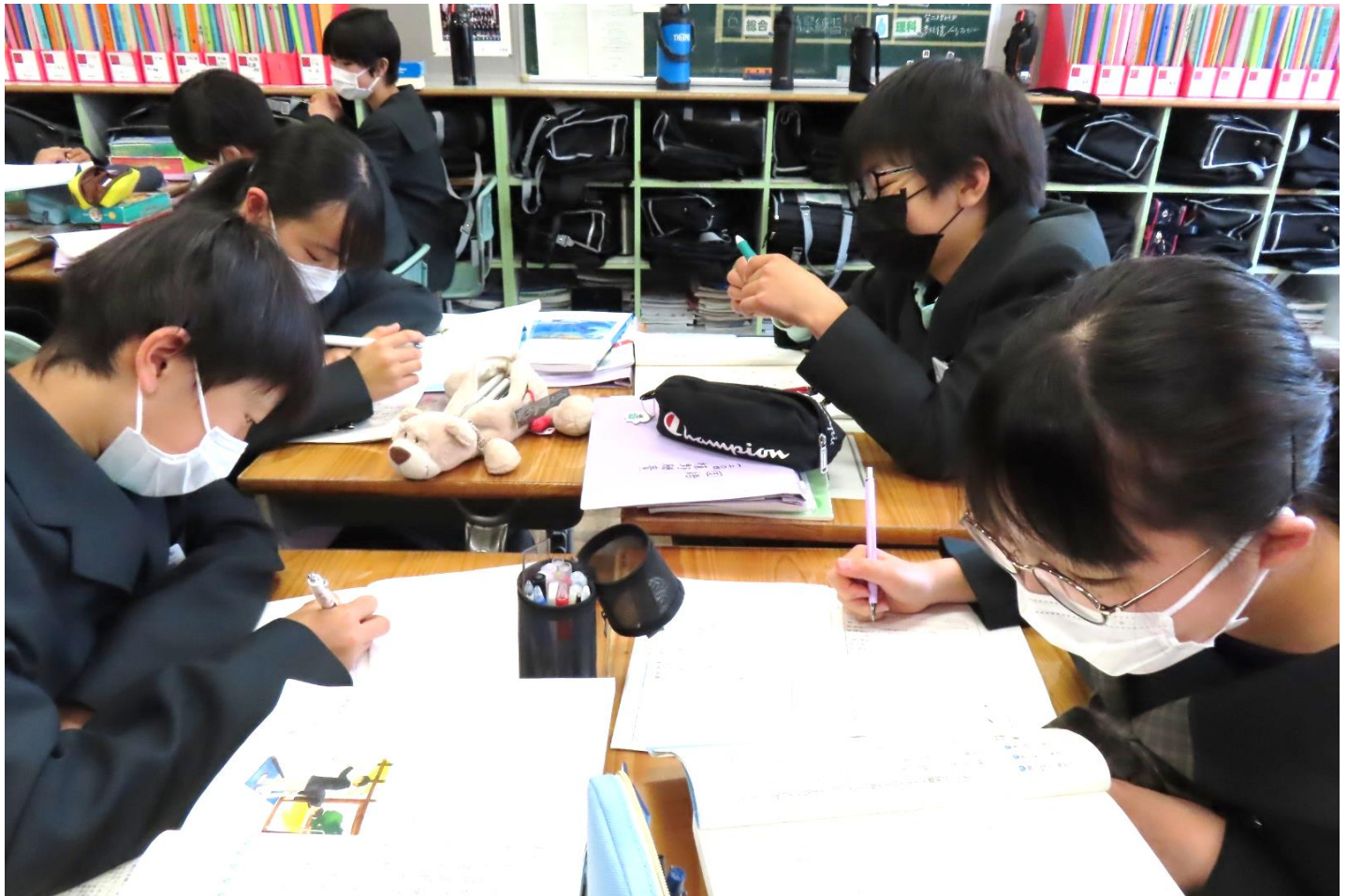
【目標】

- 心情や行動を表す語句に注意して
- 場面の展開に沿って、登場人物の
- 変化をとらえる。

- 1 驚 おどろく
- 2 僕 おれ
- 3 嫌いや にく
- 4 井井 せいせい
- 5 靴 くつ
- 6 達 たつ
- 7 うっとうしい
- 8 驚く おどろかす
- 9 嫌いな にく
- 10 僕 おれ
- 11 驚く おどろかす
- 12 嫌いな にく
- 13 井井 せいせい
- 14 靴 くつ
- 15 達 たつ



























3/10
①の表をもとに二人の関係がどのようなかについて話し合ってみよう。

① 場面面では、
② 場面面では、
③ 場面面では、
④ 場面面では、

○光 場面面では、二人ともリョウコという
関係だった。
①の場面では、好きが物しきから、な物か
わかれ、②の場面より、リョウコという関係
をすけた。

はるま
①の場面、わたリマエのかんけい。
②の場面、おてはきまるものがあてばま
いりくがた。伊が悪しなつた。
③の場面、新しい関係になつた。
④の場面、二人もたたく同じ人けん
なんだと思つた。

①の場面、二人ともがう人間だとミズ、
た。②の場面、二人とも仲よくなつた。

①の場面では二人とも同じ人間だと感じ、②の場面では二人は好き嫌いから仲がわるくなつた。③の場面から仲がわるい仲間同士、④の場面から仲がわるい仲間同士。

